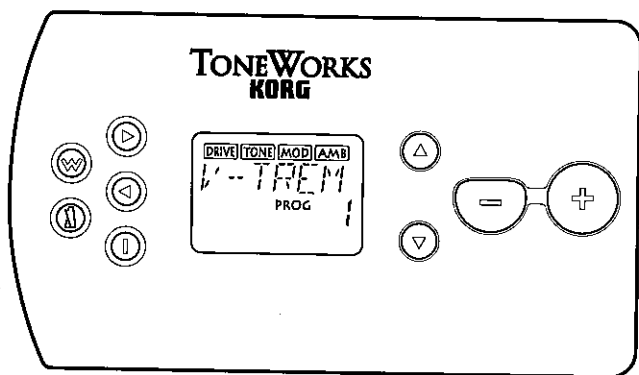




PANDORA

PX1T

取扱説明書



TONEWORKS
GUITAR HYPERFORMANCE PRODUCTS
KORG

安全上のご注意

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

以下の指示を守ってください

警告



●本製品を使用する前に、以下の指示をよく読んでください。

●ACアダプターを使用する場合は、必ずAC100Vの電源コンセントにACアダプターを差し込んでください。

●次のような場合には直ちに電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから抜きます。そして、コルグ営業所またはお買い上げになった販売店に修理を依頼してください。

- ACアダプターの電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 製品が（雨などで）濡れたとき
- 製品に異常や故障が生じたとき



●次のような場所での使用や保存はしないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光のあたる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所



●修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず最寄りのコルグ営業所またはコルグ営業技術課に相談してください。

●ACアダプターのコードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。コードに傷がつき危険です。

●本製品をヘッドフォン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程度の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

●本製品に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対にいれしないでください。



●本製品およびACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。

注意



●本製品は正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用してください。

●本製品はマイクロコンピュータを使用した機器です。このため他の電気機器を接近して同時にご使用になりますと、それらに雑音が入ることがあります。逆に他の電気機器から本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。

●ACアダプターをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他のアダプターをご使用になりますと故障の原因となります。また、使用後はACアダプターをコンセントから抜いてください。

●ACアダプターは他の電気機器の電源コードといっしょにタコ足配線することは危険です。

●長期間使用しない場合は、電池の液漏れを防ぐために電池を抜いておいてください。



●スイッチやツマミに必要な以上の力を加えますと故障の原因となりますので注意してください。

●外装のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。ベンジンやシンナー系の液体は絶対にご使用にならないでください。（コンパウンド質、強酸性のポリッシャーも不可）。

●製品をお買い上げいただいた日より一年間は、保証期間となり、修理は無償となりますが、保証書に購入店での手続きがない場合は無効となります。保証書は必ずお求めになった販売店で所定の手続きを行った後、大切に保管してください。

●今後の参照のために、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。



●ACアダプターをコンセントから抜くときは、絶対にコードを引っばらないでください。故障の原因となります。

はじめに

このたびは、TONEWORKS Personal Multi Effect Processor PANDORAをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

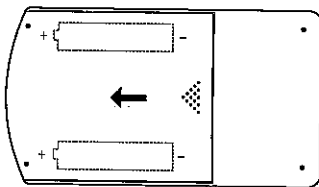
主な特長

PANDORAはコンパクトなサイズながら多機能なエフェクターです。

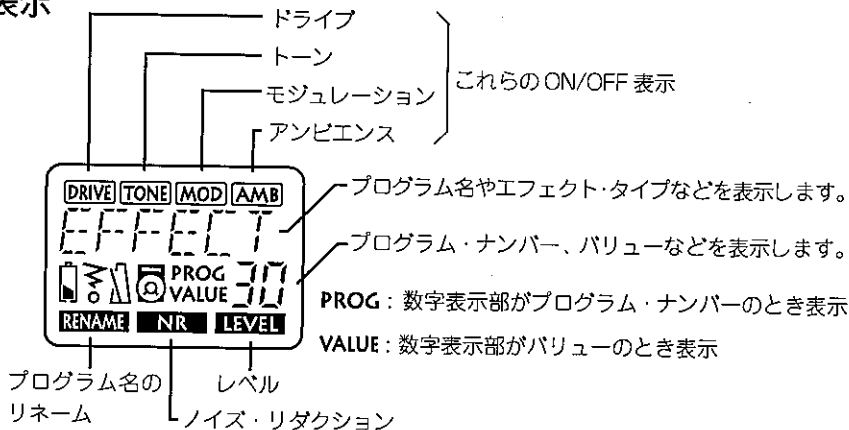
- IPE (Integrated Parameter Edit) システム ——簡単に音色の変更ができます。
- FMステレオトランスミッタ内蔵 ——FMラジオやFMチューナーで受信できます。
- チューナー機能 ——すばやくチューニングできます。
- メトロノーム機能 ——練習に便利です。
- 60タイプのエフェクト・バリエーション
- 20ユーザー・プログラム
- 新型蓄光材によるLCDバックライト ——電池を消費せずに暗い所でも表示を見ることができます。

電池の入れ方

ケース裏側の電池カバーを矢印の方向にスライドしてはずします。単3形アルカリ乾電池（別売）2本を図のように入れます。向きを間違えないように注意してください。

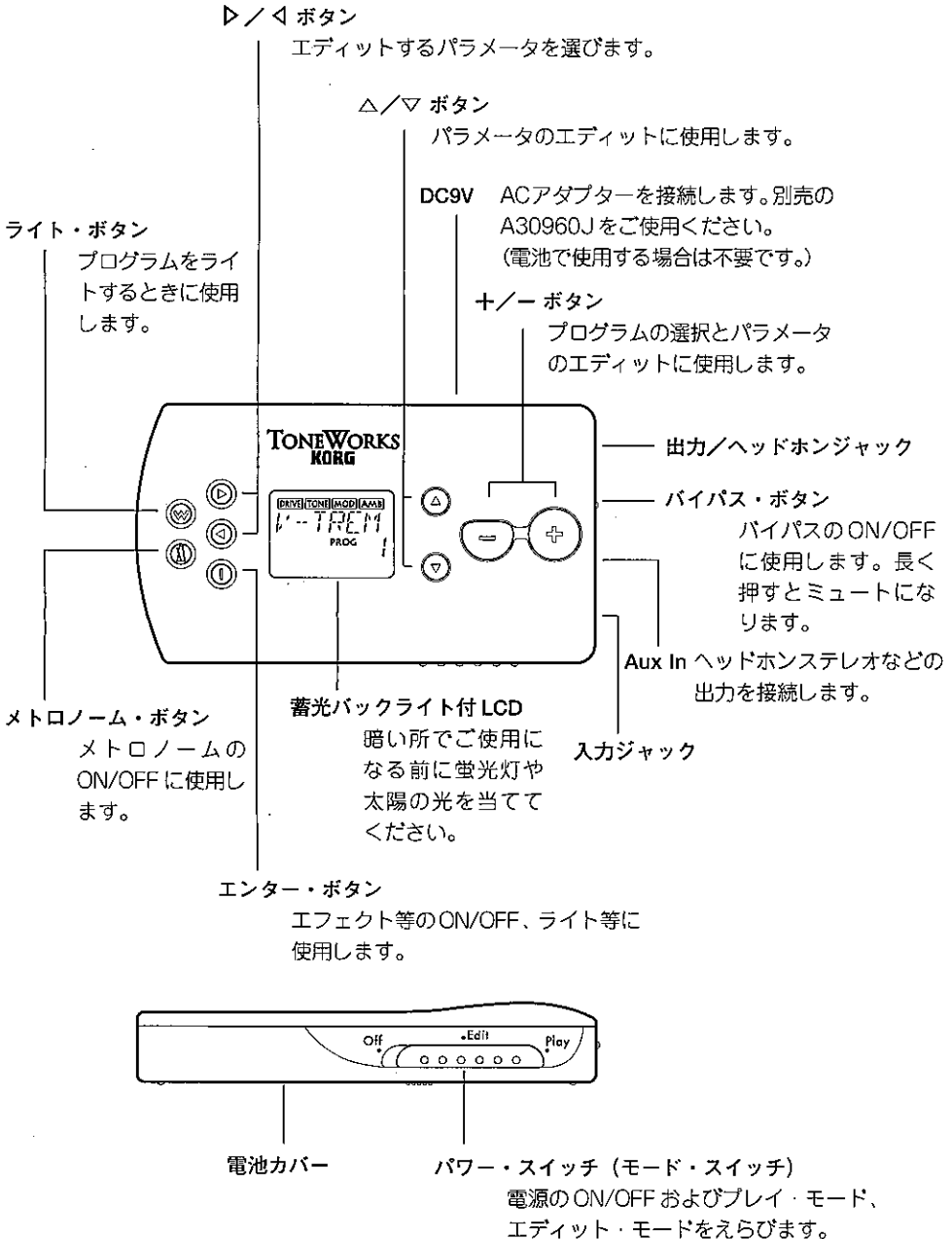


LCDの表示



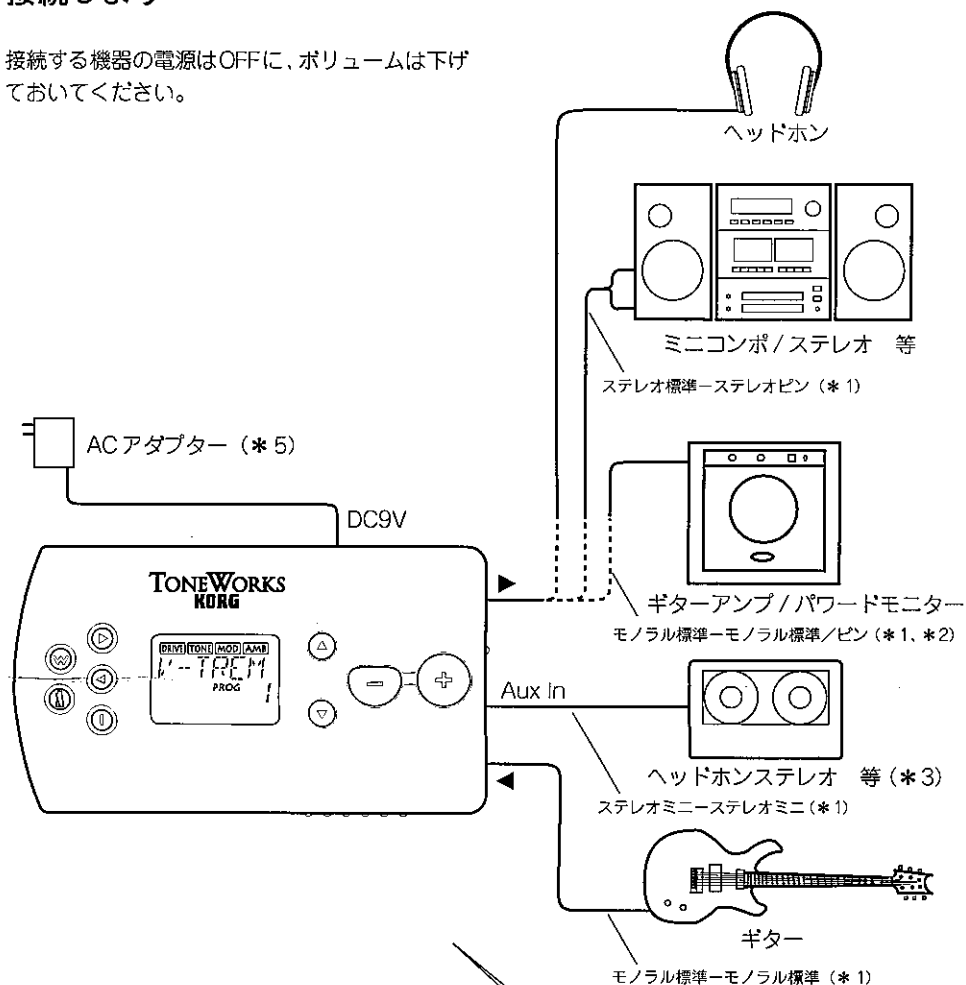
- : バッテリー・エンプティ表示 : FMステレオトランスミッタ ON/OFF表示
- : メトロノーム ON/OFF表示 : キャビネット・レゾネータ ON/OFF表示

各部の名称



接続しよう

接続する機器の電源はOFFに、ボリュームは下げておいてください。



* 1 接続ケーブルは別売です。

* 2 PANDORAの出力/ヘッドホンジャックはステレオ出力です。ギターアンプ等でモノラル標準ケーブルを使用する場合は(左)側の音が出されません。

* 3 AUX INにヘッドホンステレオなどを接続すれば、ギターとミキシングしながら演奏ができます。ただし、音量は接続した機器で調整してください。

* 4 PANDORAのFMステレオトランスミッタ機能を使用する場合は、ギターアンプ等への接続は不要です。

* 5 電池で使用する場合は、ACアダプターは不要です。ACアダプターを使用する場合は必ず指定のものを使用してください。(別売 A30960J)



音を出してみよう

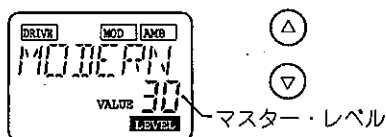
1. FMトランスミッタを使わない場合

接続を終えたら、パワー・スイッチをプレイ・モード"Play"にします。

+/- ボタンでプログラムを選びます。音量のチェックに向けたクリーン系のプログラムを選びます。(ここでは例としてProgram4"MODERN"を選びます。)



ギターのボリュームを通常演奏する程度に合わせて弾いてみます。△ または ▽ ボタンを押すとマスター・レベルが表示されます。さらに△ / ▽ ボタンを押すと音量が調整できます。



PANDORAにはインプットボリュームがありません。マスター・レベルを下げて音も音が歪む場合は、ギターのボリュームを下げて調整してください。

さらに詳しい使い方はプレイ・モードおよびエディット・モードの使い方を読んでください。

2. FMトランスミッタを使う場合

(FMトランスミッタの使い方)

接続を終えたら、PANDORAのパワー・スイッチをプレイ・モード"Play"にします。

+/- ボタンでプログラムを選びます。音量のチェックに向けたクリーン系のプログラムを選びます。(ここでは例としてProgram4"MODERN"を選びます。)

パワー・スイッチをエディット・モード"Edit"にします。

▷ ボタンを押してトランスミッタの表示 を点滅させます。

エンター・ボタンを押してトランスミッタをオンにします。(LCDに"TX ON"と表示されます。)

+/- ボタンを押して周波数を89.1MHzにします。

ギターを弾きながらチューナーの受信周波数を合わせます。

パワー・スイッチを右側の"Play"に戻します。

FMトランスミッタは、FMラジオと同じ部屋の中で、3 m以内の範囲でお使いください。

また、放送局の周波数からできるだけ離れた周波数に設定してください。

設定する周波数や環境によって、出力音に「ピー」という音が出ることがあります。このような場合は周波数を変えてお使いください。

FMトランスミッタを使わない場合は、FMトランスミッタのオン/オフ設定をオフ("TX OFF") にしてお使いください。

プレイ・モード

パワースイッチを右側の位置にしてください。プレイ・モードは通常の演奏を行なうモードです。

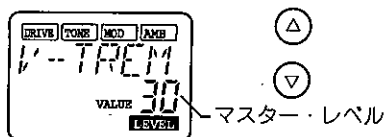
1. プログラム・チェンジ

20個のユーザー・プログラムから選択できます。十ノボタンを押して、プログラムを選択します。



2. マスター・レベル

△/▽ ボタンを押すと現在のマスター・レベルの値がLCDに表示されます。



さらに △/▽ ボタンを押すとマスター・レベルの設定ができます。マスター・レベルは設定した時点で記憶され、電源をオフにしても記憶しています。

マスター・レベルを設定できるのは、プレイ・モードで、メトロノームオフ、バイパス/ミュートが解除されている時だけです。

3. バイパス/ミュート

バイパス・ボタンを押すとチェーン表示

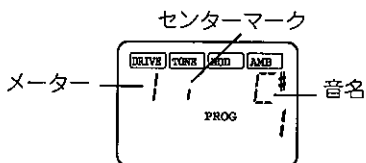


が遅い点滅になり、エフェクトのかからない音が出力されます。バイパス・ボタンを押したままにすると、約1秒後にチェーン表示が速い点滅になり、出力がミュートされ音が出なくなります。バイパスまたはミュートにするとチューナーが動作します。もう一度バイパス・ボタンを押すとバイパス/ミュートが解除されます。

4. チューナー

バイパスまたはミュートにします。英文字と数字の表示が消えて、チューナーが動作します。ギターを弾いてください。

右はじに音名、左にメーターが表示されます。センターマークに向かってチューニングしてください。シャープは音名の右上にです。



メーターが中央に合うと、センターマークが"*"になります。

△/▽ ボタンを押すと現在のキャリブレーション（基準ピッチAの周波数）の値が表示されます。さらに △/▽ ボタンを押すと、キャリブレーションをA=438から445Hzの範囲で設定できます。ここでの設定は電源を切ると無効となり、再び電源を入れるとA=440Hzに設定されます。

! キャリブレーションの表示、変更ができるのはプレイ・モードでメトロノームがオフの時のみです。

プログラムを選択するとバイパス/ミュート、チューナーは解除されます。

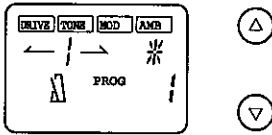
! プログラムを選択するとバイパス/ミュート、チューナーは解除されます。

エディット・モード

5. メトロノーム

メトロノーム・ボタンを押すとメトロノームがスタートします。同時に約1秒間テンポが表示されます。プレイ・モードでは、テンポ表示が消えるとメトロノーム表示になります。

テンポに合わせて表示が左右に動きます。もう一度メトロノーム・ボタンを押すとメトロノームは停止します。



プレイモード時のメトロノームの表示

メトロノームの動作中に△/▽ボタンを押すと現在のテンポが表示されます。さらに△/▽ボタンを押すと、テンポの設定ができます。テンポは設定した時点で記憶されます。(エディット・モードでは、テンポの設定は表示がでている間だけしかできません。)

△ バイパス時にメトロノームをオンにするとチューナーは動作を停止します。

プログラムを選択するとバイパス/ミュート、チューナーは解除されますが、メトロノームは継続して動作しプログラム名が約1秒間表示されます。

6. ライト(エディット・モードも同じです。)

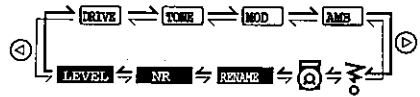
ライト・ボタンを押します。書き込むプログラムナンバーを△/▽ボタンで選びます。エンター・ボタンを押すと、プログラムが書き込まれます。書き込みがおこなわれると"COMPLT"が約1秒間表示されます。書き込まない時は、もう一度ライト・ボタンを押すとキャンセルされます。(プレイ・モードで、あるプログラムを別のプログラム・ナンバーに書き込むと、同じプログラムがコピーできます。)

パワースイッチを中央の"Edit"にしてください。各エフェクトのオン/オフおよびタイプ、パリュウやFMトランスミッタ等のエディットを行なうことができます。

△ エディット・モードではバイパス、ミュートにすることができますが、このときはエディットができません。バイパス、ミュートを解除してからエディットを行ってください。

1. エディット・パラメータの選択

▷、◁ボタンでエディットするパラメータを選択してください。▷、◁ボタンを押すごとに下図の順に選択できます。

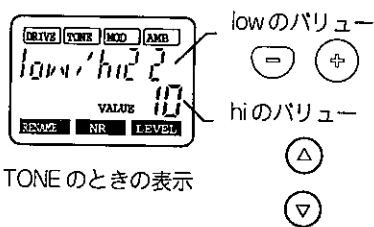


現在選ばれているパラメータは表示が点滅します。オフになっているときパラメータはエディットできません。オフになっているエフェクトをエディットするときは、▷、◁ボタンで選択してからエンター・キーを押してエフェクトをオンにします。

2. エフェクト・パラメータ・エディット

ドライブ (DRIVE)、トーン (TONE)、モジュレーション (MOD)、アンビエンス (AMB) の各エフェクトを次のボタンでエディットします。

- エンター・ボタン：エフェクトのオン/オフ
(表示は "FX ON" または "FX OFF")
- +/− ボタン：エフェクト・タイプ
(TONE のときは low のバリュー)
- △/▽ ボタン：バリュー
(TONE のときは hi のバリュー)



TONE のときの表示

ドライブ (DRIVE)：コンプレッサー、オーバードライブ、ディストーションなどの、主にギターの音色を加工するエフェクトです。

トーン (TONE)：オーディオのイコライザーと同様に音質の調整をします。

モジュレーション (MOD)：コーラス、フランジャー、フェイザーなどの変調系のエフェクトです。

アンビエンス (AMB)：ディレイ、エコー、リバーブなどの残響系のエフェクトとピッチシフターです。

- ▲ アンビエンス (AMB) の ROOM、HALL、PITCH とモジュレーション (MOD) のエフェクトは同時には使えません。
例えばアンビエンス (AMB) で ROOM、HALL、PITCH がオンになっているとき、モジュレーション (MOD) のエフェクトをオンにするとアンビエンス (AMB) のエフェクトがオフになります。

エフェクト・タイプは音色 (エフェクトの種類) を決めるパラメータです。ドライブ、トーン、モジュレーション、アンビエンスのそれぞれについてエフェクト・タイプを選びます。例えばモジュレーションでフランジャーを選ぶ場合でも、濃いめのフランジャー、薄めのフランジャー等、いくつかのタイプがあらかじめセットされています。

バリューはエフェクトの掛かり具合を決めるパラメータです。エフェクト・レベルやエフェクト・バランス (フランジャーならスピードやデプス) を設定します。変えられるバリューの意味は、エフェクト・パラメータの表を参照してください。

3. FM トランスミッタ

FM トランスミッタのオン/オフおよび周波数を設定します。

送信周波数は 88.1MHz から 89.9MHz まで、0.2MHz 刻みで選択が可能です。

エンター・ボタンでオン/オフを切り替えると "TX ON" または "TX OFF" が表示されます。

FM トランスミッタがオンのとき、+/- ボタンで周波数が設定できます。

オン/オフ、周波数は設定した時点で記憶し、電源をオフにしても記憶されています。FM トランスミッタの設定は、プログラム毎にはできません。

調整のしかたは、音を出してみよう「2. FM トランスミッタを使う場合」を参照してください。

4. キャビネット・レゾネータ

キャビネット・レゾネータはギターアンプのスピーカ・キャビネットの音響特性をシミュレートする機能で、箱鳴りまでもシミュレートしません。

エンター・ボタンでオン/オフを切り替えると "CR ON" または "CR OFF" が表示されます。

キャビネット・レゾネータがオンのとき、+/- ボタンでキャビネット・タイプが選択できます。

その他

5. リネーム

プログラムの名称 (6 文字) を変更できます。
+ / - ボタンでカーソルを移動し、△ / ▽ ボタンで文字を変更します。

6. NR (ノイズ・リダクション)


+ / - ボタンでノイズ・リダクションの効果の強さを設定します。

バリューを上げるほどノイズを抑える効果は強くなります。通常はギターの弦を軽くミュートしたときノイズが気にならないレベルまで値を上げます。

7. レベル

+ / - ボタンでプログラム毎のレベルを設定します。

DRIVE、TONE の設定によっては出力音がクリップしてしまう場合がありますので、このレベル設定でクリップしなくなる程度に調整してください。

 ご使用になるギターによって各プログラムの音量が変化します。ご自分のギターに合わせてレベルを設定してください。

8. ライト


プレイ・モードと同じです。プレイ・モード「6. ライト」を参照してください。

バッテリー・エンプティ表示

バッテリーが少なくなると、バッテリー・エンプティ表示が出てバッテリーの中身の表示が点滅します。表示が出たらなるべく早くバッテリーを交換してください。バッテリー・エンプティ表示が出ても約 20 分は使用できます。またバッテリーを抜いたままにしても、プログラム等は消えません。

プリセット・プログラム (工場出荷時のプログラム) の再ロードのしかた

メトロノーム・ボタンとエンター・ボタンを押しながら電源をオンしてください。"LOAD?" と表示がでます。+ ボタンを押すとプリセットプログラムがロードされ (表示が"LOAD"になります)、まもなく電源オン時の画面になります。▽ ボタンを押すとロードされずにそのままプログラムが起動します。

 プリセット・プログラムをロードするとそれまでのプログラムは全て書き替わりますのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず以下のことを確認してください。症状が改善されない場合は、お近くの販売店またはコルグのサービス・ステーションまでお問い合わせください。

1. 電源がはいらない。

- *電池が入っていますか？
または、コンセントにACアダプターが接続されていますか？

2. 音が出ない。

- *ギター、アンプ、ヘッドホンはそれぞれの端子に正しく接続されていますか？
- *アンプの電源がオンになっていて正しく設定されていますか？
- *接続コードは断線していませんか？
 - ヘッドホンを接続して音が出れば、**PANDORA**より後の接続に問題があります。
- *マスター・レベルの値が"0"または小さい値になっていませんか？
- *レベル（プログラム毎）のバリューが"0"または小さい値になっていませんか？
- *ミュート（チェーン表示 **DRIVE** **TRONR** **MOD** **AMB** が速い点滅）になっていませんか？
 - すべてのエフェクトがオフのときはチェーン表示が消えてしまい、LCDの表示からはバイパスとミュートの区別ができないのでご注意ください。
- *ギターのボリュームで音をしばっていませんか？

3. FMトランスミッターを使用した場合で、音が出ない、音がきたない。

- ***PANDORA**のFMトランスミッターがオンになっていますか？
- ***PANDORA**とFMラジオ／FMチューナーの周波数が合っていますか？
- ***PANDORA**とFMラジオ／FMチューナーのアンテナとの距離は3m以内ですか？
- *FMラジオ／チューナーの電源がオンになって正しく設定されていますか？

4. Aux In に接続した機器の音量が大きい（または小さい）

- 接続した機器の出力レベルを調整してください。
- ミキシングしたい機器のヘッドホン端子から接続してください。

5. エフェクトがかからない。

- *バイパス（チェーン表示 **DRIVE** **TRONR** **MOD** **AMB** が遅い点滅）になっていませんか？
- *プログラムで使うエフェクトがオンになっていますか？

6. チューナーが動作しない。

- *プレイ・モードでバイパスまたはミュートになっていますか？
 - プレイ・モードでバイパスまたはミュートにしてください。

エフェクト・パラメータ (i)

	TYPE (+、-ボタン)		VALUE (△、▽ボタン)
DRIVE	COMP	コンプレッサー	コンプレッサー効果の強さの設定
	CRUNCH	マイルドなオーバードライブ	ラインアウト、ヘッドホンに適したドライブエフェクト
	SCREAM	エッジのきいたオーバードライブ	
	TUBE	ビンテージタイプのオーバードライブ	
	HOTBOX	ミッドレンジに多くの倍音を持つディストーション	
	HIGAIN	ハイゲインタイプのディストーション	
	VALVE	ビンテージアンプのハイゲインディストーション	
	CRUSH	スムーズでのびのあるディストーション	
	SCOOP	ドンシャリ風のディストーション	
	OVD1/A	ビンテージタイプのオーバードライブ	
	OVD2/A	エッジのきいたオーバードライブ	
	DST1/A	サスティーンのあるソロむきのディストーション	
	DST2/A	ドンシャリ風のディストーション	
	TONE	LOW(低域)イコライザのゲインの設定	

エフェクト・パラメータ (ii)

	TYPE (+、-ボタン)		VALUE (△、▽ボタン)
MOD	CHO1	LFOが三角波のコラス	変調のスピードの 設定
	CHO2	LFOがサイン波のコラス	
	CHO3	エフェクト音が左に、ダイレクト音が右に出力されるコラス	
	CHO4	ダブリング・コラス	
	FLAN1/2/3	フランジャー *FLAN1,2,3でそれぞれフィードバック量が異なります	
	FLAN4	フィード・バックが逆相のフランジャー	
	VIB1	音程が周期的に変わるビブラート	
	VIB2/3/4	ロングトーンを弾いたときに効果が遅れてかかるディレイ・ビブラート *VIB2,3,4でそれぞれビブラートがスタートするまでの時間が変わります	
	PHAS1	ビンテージタイプのフェイザー	
	PHAS2	ピークが強めのフェイザー	
	PHAS3	PHAS1のフィードバックを逆相にしたもの	
	PHAS4	PHAS2のフィードバックを逆相にしたもの	
	TREM1	浅めのトレモロ(LFO= ∪)	オートワウの感度の 設定
	TREM2	深めのトレモロ(LFO= ∪)	
	TREM3	浅めのトレモロ(LFO= ∩)	
	TREM4	深めのトレモロ(LFO= ∩)	
	PAN1	オートパン(LFO= ∪)	
	PAN2	オートパン(LFO= ∩)	
	AWAH1	アタックの速いオートワウ	
AWAH2	アタックの遅いオートワウ		
AWAH3	フィルターが逆方向に動くアタックの速いオートワウ	固定する周波数の 設定	
AWAH4	フィルターが逆方向に動くアタックの遅いオートワウ		
WAH	ペダルを固定したタイプのワウ・ワウ	変調のスピードの 設定	
RNDM1/2/3/4	フィルターがランダムに動くランダムステップフィルター *RNDM1,2,3,4でフィルターの動く帯域がかわります		

エフェクト・パラメータ (iii)

	TYPE (+、-ボタン)		VALUE (△、▽ボタン)
AMB	DELAY1	ステレオで再生すると左右に広がるアンビエント・ディレイ	ディレイ音とダイレクト音のミックスバランスの設定
	DELAY2	ダブリング・ディレイ	
	DELAY3	ショート・ディレイ	
	DELAY4	ミディアム・ディレイ	
	DELAY5	ミディアムロング・ディレイ	
	DELAY6	ロング・ディレイ	
	ECHO1	フィードバックのあるショート・ディレイ	
	ECHO2	フィードバックのあるミディアム・ディレイ	
	ECHO3	フィードバックのあるミディアムロング・ディレイ	
	ECHO4	フィードバックのあるロング・ディレイ	
	ECHO5	ピンポン・ディレイ1	
	ECHO6	ピンポン・ディレイ2	
	ROOM	ルームタイプのリバーブ	
	HALL	ホールタイプのリバーブ	
PITCH	PITCH1/2/3	ピッチ・シフター *PITCH1,2,3でそれぞれエフェクト音のレベルが変わります	ピッチシフトの変化幅の設定
	PITCH4	エフェクト音とドライ音が左右に別れるピッチ・シフター	
	PITCH5/6/7/8	PITCH1~4にステレオ・ディレイをかけたタイプ	
CABINET RESONA- TOR	CABNT1	中域に共振ポイントのあるキャビネットサウンド	(なし)
	CABNT2	ドンシャリ系のキャビネットサウンド	
	CABNT3	中高域に共振ポイントのあるキャビネットサウンド	
	CABNT4	現実には起こりえないほどの共振を付加したタイプ	

Personal Multi Effect Processor PANDORA PX1T 仕様

プログラム数：20

入力：ギター・インプット（標準ジャック）
AUX IN（ミニ・ステレオ・ジャック）

出力：ライン/ヘッドホン兼用アウトプット（標準ステレオ・ジャック）

チューナー部測定範囲：27.5Hz～2093Hz（A0～C7）

メトロノーム部テンポ： ♩ = 40～208

FMトランスミッタ部送信周波数：88.1MHz～89.9MHz（0.2MHzステップ）

電源：アルカリ単3乾電池 2本

連続8.5時間使用可能（FMトランスミッタOFF、ヘッドホン使用）

連続7.5時間使用可能（FMトランスミッタON、ヘッドホン使用なし）

または

別売A Cアダプター（コルグA30960J）

外形寸法：127.5mm X 22mm X 75mm（W X H X D；突起部を含まず）

重量：180g（乾電池を含む）

付属品：取扱説明書、保証書

オプション：専用ホルダー、A Cアダプター（A30960J）

外観及び仕様は改良のため予告なく変更する事がありますのでご了承ください。

アフターサービス

■製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間です。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は無償修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし次の場合の修理は有償となります。

- ・消耗部品(電池など)を交換する場合。
- ・輸送時の落下、衝撃などお客様の取扱方法が不適当のため生じた故障。
- ・天災(火災等)によって生じた故障。
- ・故障の原因が本製品以外の他の機種にある場合。
- ・コルグサービスステーション及びコルグ指定者以外の手で修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
- ・保証書に販売店名、お客様氏名、ご住所、お買い上げ日等が記入されていない場合。
- ・保証期間が切れている場合。
- ・日本国外で使用される場合。

■当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても3カ月以内に限り無償修理いたします。また仕様変更に関しては有償になりますのでご了承ください。

■お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証書は引き続きお使いいただけます。移転先のコルグ製品取扱店、またはコルグ・インフォメーションまでお問い合わせください。

■保証期間が切れますと、修理は有償になります。が、引き続き製品の修理は責任をもってさせていただきます。修理用性能部品(電子回路など)は通常8年を基準に保有しております。ただし外装部品(パネル、スイッチなど)の修理は類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。

■その他、アフターサービスについてご不明の点は下記へお問い合わせください。

▼▲▼▲▼株式会社コルグ▼▲▼▲▼▲▼

インフォメーション	〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12	☎ (03)5376-5022
東京営業所	〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17	☎ (03)3323-5241
名古屋営業所	〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51	☎ (052)832-1419
大阪営業所	〒531 大阪市北区豊崎3-2-1淀川5番館7F	☎ (06) 374-0691
福岡営業所	〒810 福岡市中央区白金1-3-25第2池田ビル1F	☎ (092)531-0166

■修理等のお問い合わせは最寄りの各営業所、または下記までお問い合わせください。

営業技術課 〒157 東京都世田谷区南烏山4-28-20 ☎ (03)3309-7004

<WARNING!>

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

(この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。)

KORG
株式会社コルグ

- 本社: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎ (03) 3325-5691
- インフォメーション: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎ (03) 5376-5022
- 東京営業所: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17 ☎ (03) 3323-5241
- 名古屋営業所/ホームズ/シネ: 〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51 ☎ (052) 832-1419
- 大阪営業所: 〒531 大阪市北区豊崎3-2-1淀川5番館7F ☎ (06) 374-0691
- 福岡営業所: 〒810 福岡市中央区白金1-3-25第2池田ビル1F ☎ (092)531-0166